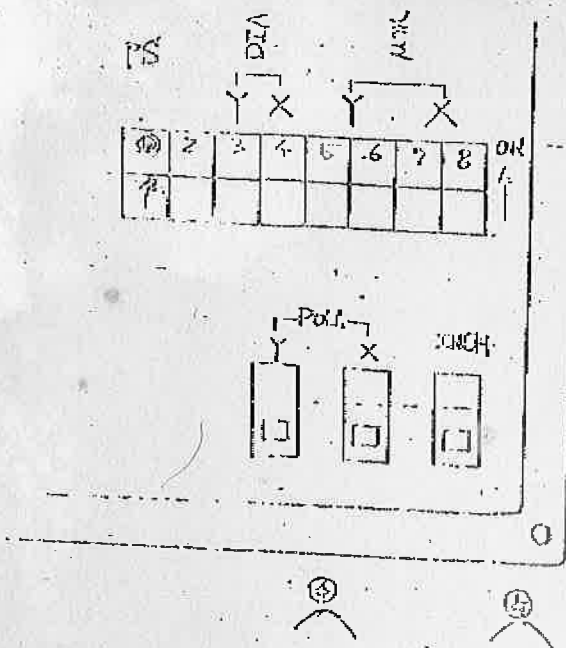


P. 002
APR. 04 '86 15:08 (送信) フタバ パールスケール

システムパラメータCM2000詳細

石
31.3.16
塚

石
31.2.28
井



#1 PS スイッチ

パラメータ設定スイッチです。コサインエラー補正値及び ORIGIN 零点量の設定に使用します。
詳細は後述します。

#2 スイッチ

スレーシング ON/OFF スイッチです。
高分解能のスケールを用いる場合に、最小桁のちぎれ
場合、このスイッチを ON します。

#3, #4 DIA スイッチ

直径、半径切換スイッチです。通常は OFF にあります。
ON にすると、実距離の 2 倍を表示します。
#3 は Y 軸、#4 は X 軸になります。

#5, #6, #7, #8 分解能の切換スイッチ

Y 軸分解能	5μ	2μ	1μ
#5	ON	OFF	OFF
#6	OFF	ON	OFF

X 軸分解能	5μ	2μ	1μ
#7	ON	OFF	OFF
#8	OFF	ON	OFF

＜注＞ 2μ, 1μ 分解能は、スケールエラーも交った分解能のため、
正しく表示は行われません。

・ POLA X, Y スイッチ

スケール読取方向の極性切替スイッチです。

線読みの方向と表示の極性を一致させる様に設定して下さい。

・ INCH スイッチ

インチ、ミリの切替スイッチです。

ミリ表示は、下にキーを押す位置

インチ表示は上にキーを押す位置です。

⑧ システムパラメーターの書き込み及び確認の方法

CM 2000 カウンターは、システムパラメーターとして上記の他に
コサインエラー補正及び原点オフの2項目が、各軸独立に
設定出来ます。

1. コサインエラーの補正値は $0 \sim \pm 99 \mu/m$ に設定出来ます。

但し、直線補正では補正出来ません。

2. 原点オフ量は $0 \sim \pm 9999.995 mm$ に設定出来ます。

○ 確認方法

1. #1 PS SW を ON にしてから電源スイッチを ON します。

X: PARA S

Y: 00000000

2. M → 1 → F1 と押すと下記の表示となります。

X: C. SE 1 --- X軸のCOSエラーと意味(1はX軸)

Y: 00000000 --- 補正量 0 という意味です。

3. M → 2 → F1 と押すと下記の表示となります。

X: ABS P 1 --- X軸の原点オフ量と意味(1はX軸)

Y: 00000000 --- オフ量 0 という意味です。

P10-3

4. $[M] \rightarrow [3] \rightarrow [M]$ と押すと下記の表示となります。

X $[C o S E \quad 2]$ --- Y軸のCOSエラータの意味です (2は1軸)

Y $[00000000]$ --- 補正量0という意味です。

5. $[1] \rightarrow [4] \rightarrow [M]$ と押すと下記の表示となります。

X $[A B S \quad P \quad 2]$ --- Y軸向の原素エラータという意味です (2は1軸)

Y $[00000000]$ --- ミガ量0という意味です

0 書き込みの方法。

1. 確認方法の1.のステップを行って下さい。

X $[P A R A S]$

Y $[00000000]$

2. X軸のCOS補正量を $-25\mu/m$ と設定する場合

$[2] \rightarrow [5] \rightarrow [7] \rightarrow [M] \rightarrow [1] \rightarrow [M]$ と押して下さい。

X $[C o S E \quad 1]$

Y $[-00000025]$

3. Y軸のCOS補正量を $55\mu/m$ と設定する場合

$[5] \rightarrow [5] \rightarrow [M] \rightarrow [3] \rightarrow [M]$ と押して下さい。

X $[C o S E \quad 2]$

Y $[00000055]$

P10-41

4. X軸の原点オフセットを -22.535 と設定する。

2 → 2 → 0 → 5 → 3 → 5 → 1/2 → M → 2 → 1/4

X . ABS P 1

Y -0022535

5. Y軸の原点オフセットを 2.345 と設定する。

2 → 3 → 4 → 5 → M → 4 → 1/4

X ABS P 2

Y .0000.2345

6. 以上の操作后、#1スイッチをOFFにしたまま電源スイッチをOFFにて下さい。

このときで上記4項目のパラメータ値が正確な値に格納されたい事になります。

7. COSエラー補正の定義

0 カンタ表示 999.998
——— 標準スケール 1000.000

上図の場合、補正値は+2mと云う補正値を設定します。